# 厚生労働科学研究費補助金 萌芽的先端医療技術推進研究事業

細胞内動態制御機能を有する新規細胞選択型ナノ遺伝子 キャリアの開発と遺伝子治療への応用

平成16~18年度 総合研究報告書

主任研究者 川上 茂

平成19(2007)年 4月

# 目 次

| 糸               | 総合研究報告<br>H胞内動態制御機能を有する新規細胞選択型ナノ遺伝子キャリアの開発と遺伝子治療<br>D応用 | ^ |
|-----------------|---------------------------------------------------------|---|
| J               | 上 茂                                                     |   |
| ${\mathbb I}$ . | 研究成果の刊行に関する一覧表                                          |   |
| ${\mathbb H}$ . | 研究成果の刊行物・別刷10                                           |   |

# 厚生労働科学研究費補助金(萌芽的先端医療技術推進研究事業) 研究報告書

細胞内動態制御機能を有する新規細胞選択型ナノ遺伝子キャリアの開発と遺伝子治療への応用

主任研究者 川上 茂 京都大学大学院薬学研究科

本研究は、生体内で細胞特異的デリバリーなど高度な機能を発揮する多機能 性標的指向型ナノ・遺伝子キャリアの創製を行うため、細胞特異的認識素子の表面導入、 あるいは細胞内動態制御の指針となる総合的な設計戦略を確立し、同時に実用性の高い in vivo レベル遺伝子発現制御技術の開発を目指す。さらに本研究を通して開発した新規多機能 性標的指向型ナノ・遺伝子キャリアを遺伝子治療へと応用する。平成 16-17 年度における 検討を通じて、各肝臓構成細胞が有する固有で比較的厳密な基質認識性を示す糖鎖認識機 構を利用できるよう分子設計した各種糖修飾カチオン性リポソームを開発した。物理化学 的性質、体内動態、遺伝子導入、毒性に関する評価を通じて基本的な細胞選択的 in vivo 遺 伝子ターゲティングシステムの確立に成功した。一方、遺伝子治療への応用を考えていく 上では、in vivo での導入活性のみならず治療効果との相関などを議論する必要がある。平成 17 年度における検討では、樹状細胞への遺伝子ターゲティングを DNA ワクチン療法へ応用 し、遺伝子を用いて導入したがん抗原特異的細胞障害性 T 細胞の誘導による新規がん遺伝 子治療法開発に成功した。平成18年度は、本システムの核酸医薬品への遺伝子治療への応 用を試みるため、炎症関連遺伝子群の発現を誘導する転写因子 NFkB に対するデコイ型 2 本鎖オリゴヌクレオチド (NFkB デコイ) を用いた新規抗炎症療法に関する評価をおこなっ た。その結果、細胞内動態制御機能を有するフコース修飾カチオン性リポソームにより、 NFkB デコイの静脈内投与による Kupffer 細胞選択的な送達を実現し、LPS 誘発性肝疾 患マウスにおける肝炎抑制効果を得ることに成功した。以上、生体内で細胞特異的デリ バリーなど高度な機能を発揮する多機能性標的指向型ナノ・遺伝子キャリアの開発に成功 した。これらの知見は癌や炎症性疾患に対する遺伝子治療の実現に向けて有用な基礎的 知見を与える。

# A. 研究目的

本研究は、生体内で細胞特異的デリバリーなど高度な機能を発揮する多機能性標的指向型ナノ・遺伝子キャリアの創製を行うため、細胞特異的認識素子の表面導入、あるいは細胞内動態制御の指針となる総合的な設計戦略を確立し、同時に実用性の高いin vivo レベル遺伝子発現制御技術の開発を目指す。具体的には、i)新規細胞内動態制御型遺伝子導入キャリアの開発、ii) in vivo 細胞特異的遺伝子導入のための製剤設計を通じて、最終年度には iii) 齧歯類での遺伝子治療への応用を目指す。

# B. 研究方法

リポソームの調製: vortex 法により調製した。物理化学的性質の測定:ゼータ電位および平均粒子径は動的光散乱法により測定した。 体内動態の評価: 蛍光あるいは[32P]標識プラスミドDNAあるいはNFkBデコイを調製 した。5 週齢雌性 ICR マウス (22 - 25 g) の 静脈内へ各種複合体を投与した。マウスを 安楽死させ、肝臓、肺、心臓、脾臓、腎臓 への移行を組織切片あるいは放射活性によ り評価した。In vivo 遺伝子導入の評価: 5週 齢雌性 ICR マウスへ各種複合体を投与した。 マウスを安楽死させ、肝臓、肺、あるいは 腹腔滲出細胞 (APCs)、大網、リンパ節を 回収し、それぞれの細胞における遺伝子発 現レベルを測定した。細胞障害性 T 細胞 (CTL)誘導の評価: 腹腔内または筋肉内投 与投与後、脾臓細胞を B16BL6 細胞と共存 下にて培養し、B16BL6 細胞に対して CTL の評価をおこなった。抗炎症効果の評価: LPS 誘発性肝炎を誘発させ、複合体による 抑制効果を肝臓中 NFkB 量、血清中サイト カイン、aspartate aminotransferase (AST)、 alanine aminotransferase (ALT)の測定を指 標に行った。

# C.D. 結果・考察

i) 新規細胞内動態制御型遺伝子導入キャリ アの開発: His を含む新規 Gal-His-C4-Chol 含有リポソームの平均粒子径・ゼータ電位 は、対照のリポプレックス群とほぼ同じ値 であった。<sup>32</sup>P 標識した pDNA を用いてアシ アロ糖タンパクレセプターを高発現する HepG2 細胞への取り込みを評価した結果、 高い取り込みを示すことが明らかとなった。 次に、HepG2 細胞への遺伝子導入能を評価 した結果、Gal-His-C4-Chol 含有リポプレッ クスは、有意に高い遺伝子発現能を示した。 また、細胞取り込みと遺伝子発現の相関よ り、Gal-His-C4-Chol 含有リポソーム複合体 はアシアロ糖タンパクレセプターにより細 胞選択的に取り込まれ、細胞内動態の改善 により高い遺伝子発現に至っていることが 示された。In vivo における遺伝子導入に関 して、Man-His-C4-Chol 含有リポソーム複合 体は、腹腔内投与によりマンノースレセプ ターを介した細胞選択的な取り込みにより 効率的な抗原提示細胞への遺伝子導入が可 能であることを明らかにした。以上、Gal-および Man-His-C4-Chol 含有リポソームが 有用な多機能型遺伝子導入キャリアとなり 得ることが示された。

ii) in vivo 遺伝子導入のための製剤設計:血 管内へカチオン性リポソーム複合体を静脈 内投与後、主に赤血球との相互作用により 標的細胞へのデリバリーが阻害されている ことを明らかにした。一方、中性脂質とし て広く用いられる pH 感受性脂質 DOPE を 含有するリポソーム複合体は静脈内投与後肺 からの脱出が早く、肺以外の臓器へのターゲ ティングに適していることが示唆された。また、 腹腔内は生体成分も血管内と比べて少なく、 腹腔内やリンパに存在する抗原提示細胞への 長期的かつ効率的な遺伝子導入が可能であ ることを明らかにした。一方、腹腔内投与では DOPE を含むカチオン性リポソーム複合体 の遺伝子導入能は低く、cholesterol を用いて リポソーム膜を安定化させることで遺伝子 発現を改善できることが示唆された。さらに、 複合体形成時の溶媒のイオン濃度が安定な 複合体形成に重要であり、in vivo 遺伝子導入 能にも影響することを明らかにした。以上、静 脈内投与ならびに腹腔内投与における遺伝 子導入におよぼす製剤学的な因子を明らかに

した。

# iii) 遺伝子治療への応用

腹腔内投与による抗原提示細胞デリバリーに基づく DNA ワクチン療法の開発をおこなった。その結果、マンノース修飾リポソーム複合体の腹腔内投与法による遺伝子導入法では、効率的な導入抗原特異的なCTL 誘導に基づくがん免疫療法が可能であることを明らかにした。

また、オリゴヌクレオチドへの応用 に関して、Fuc-C4-Chol, DOPE により細胞 内動態制御機能を有するフコース修飾力 チオン性リポソーム (Fuc リポソーム) を 調製した。静脈内投与後、Fuc リポソーム /NFkBデコイ複合体の Kupffer 細胞選択的 な送達および炎症抑制効果について検討 した。静脈内投与後、Fuc リポソーム/[<sup>32</sup>P] 標識 NFkB デコイ複合体は、対照の naked NFkB デコイおよびカチオン性リポソー ム複合体に比べ、有意に高く肝臓へ集積 した。また、肝臓内細胞分布に関しては、 Kupffer 細胞が存在する肝非実質細胞への 集積が認められた。さらに、Kupffer 細胞 に障害を与える GdCl3 を前投与したとこ ろ、Fuc リポソーム/NFkB デコイ複合体の 肝臓への集積が有意に減少し、Kupffer 細 胞での高い取り込みが示唆された。

LPS 誘発性肝疾患マウスに対し、Fuc リポソーム/NF $\kappa$ B デコイ複合体を静脈内投与したところ、対照の naked NF $\kappa$ B デコイ、カチオン性リポソーム複合体と比べ、血清中 TNF $\alpha$ 量、IFN $\gamma$ 量の有意な抑制効果が認められた。また、本治療実験に用いたマウス肝臓核内 NF $\kappa$ B 量を評価したところ、有意な核内 NF $\kappa$ B 量の増加抑制が認められ、Fuc リポソーム/NF $\kappa$ B デコイ複合体による NF $\kappa$ B の活性化抑制が確認された。さらに、Fuc リポソーム/NF $\kappa$ B デコイ複合体による AST、ALT の有意な抑制も認められ、肝炎治療の可能性が強く示唆された。

# E. 結論

生体内で細胞特異的デリバリーなど高度な機能を発揮する多機能性標的指向型ナノ・遺伝子キャリアの開発に成功した。また、齧歯類動物によりプラスミド DNA,オリ

ゴヌクレオチドによる癌、炎症に対する遺 伝子治療を証明した。これらの知見は、今 後の遺伝子治療技術の開発において有益な 基礎的知見となり得る。

# F. 健康危険情報

なし

# G. 研究発表

# 1. 論文発表

1) Y. Hattori, S. Kawakami, S. Suzuki, F. Yamashita, and M. Hashida: Enhancement of immune responses by DNA vaccination through targeted gene delivery using mannosylated cationic liposome formulations following intravenous administration in mice,

Biochemical and Biophysical Research Communications, 317(4): 992-999 (2004).

2) K. Sakanaka, K. Kawazu, M. Tomonari, T. Kitahara, M. Nakashima, <u>S. Kawakami</u>, K. Nishida, J.

Nakamura, and H. Sasaki: Ocular

pharmacokinetic/pharmacodynamic (PK/PD) modeling for bunazosin after instillation into rabbits,

Pharmaceutical Research, 21(5): 770-776 (2004).

3) M. Teshima, S. Kawakami, K. Nishida, J. Nakamura, T. Sakaeda, H. Terazono, T. Kitahara, M. Nakashima, and H. Sasaki: Prednisolone retention in integrated liposomes by chemical approach and pharmaceutical approach,

Journal of Controlled Release, 97, 211-218 (2004).
4) S. Kawakami, A. Harada, K. Sakanaka, K. Nishida, J. Nakamura, T. Sakaeda, N. Ichikawa, M. Nakashima, and H. Sasaki: In vivo gene transfer to the eye using the cationic liposomes after intravitreal injection in rabbits, International Journal of Pharmaceutics, 278(2): 255-262 (2004).

5) E. Ishida, C. Managit, <u>S. Kawakami</u>, M. Nishikawa, F. Yamashita, and M. Hashida: Development of galactosylated emulsions for hepatocyte-selective targeting of lipophilic drug in mice,

Pharmaceutical Research, 21 (6): 932-939 (2004).
6) S. Kawakami, Y. Hattori, Y. Lu, Y. Higuchi, F. Yamashita, and M. Hashida: Effect of cationic charge on receptor-mediated transfection using mannosylated cationic liposome/plasmid DNA complexes following the intravenous administration in mice,

Pharmazie, 59 (5): 405-408 (2004).

7) M. Yamada, M. Nishikawa, S. Kawakami, Y. Hattori, T. Nakano, F. Yamashita, and M. Hashida: Tissue and intrahepatic distribution and subcellular localization of mannosylated cationic liposome/plasmid DNA complex after intravenous administration in mice, Journal of Controlled Release, 98 (1): 157-167 (2004). 8) S. Fumoto, S. Kawakami, T. Ito, K. Shigeta, F.

Yamashita, and M. Hashida: Enhanced
hepatocyte-selective in vivo gene expression by
stabilized galactosylated linosome/plasmid DNA

stabilized galactosylated liposome/plasmid DNA complex using sodium chloride on complex formation, *Molecular Therapy*, 10 (4): 719-729 (2004).

9) Y. Higuchi, M. Nishikawa, S. Kawakami, F.

Yamashita, and M. Hashida: Uptake characteristics of mannosylated and fucosylated bovine serum albumin in primary cultured rat sinusoidal endothelial cells and Kupffer cells,

International Journal of Pharmaceutics, 287 (1-2): 147-154 (2004).

10) C. Managit, S. Kawakami, F. Yamashita, M. Hashida; Uptake characteristics of galactosylated emulsion by HepG2 hepatoma cells, International Journal of Pharmaceutics, 301 (1-2), 255-261 (2005)

11) C. Managit, S. Kawakami, F. Yamashita, M. Hashida; Effect of galactose density on asialoglycoprotein receptor-mediated uptake of galactosylated liposomes,

Journal of Pharmaceutical Sciences, 94 (10), 2266-2275 (2005)

12) Y. Arakawa, <u>S. Kawakami</u>, F. Yamashita, M. Hashida: Effect of low-molecular-weight  $\beta$ -cyclodexrin polymer on release of drugs from mucoadhesive buccal firm dosage forms,

Biological & Pharmaceutical Bulletin, 28 (9), 1679-1683 (2005)

13) Y. Higuchi, S. Kawakami, M. Nishikawa, F. Yamashita, M. Hashida: Intracellular distribution of NFκB decoy and its inhibitory effect on TNFα production by LPS stimulated RAW 264.7 cells, Journal of Controlled Release, 107 (2), 373-382 (2005) 14) S. Fumoto, S. Kawakami, K. Shigeta, Y. Higuchi, F. Yamashita, M. Hashida: Interaction with blood components is a crucial role in asialoglycoprotein receptor-mediated in vivo gene transfer by galactosylated lipoplex,

Journal of Pharmacology and Experimental Therapeutics, **315** (2), 484-493 (2005)

15) Y. Hattori, S. Suzuki, <u>S. Kawakami</u>, F. Yamashita, M. Hashida: The role of

dioleoylphosphatidylethanolamine (DOPE) for targeted in vivo gene transfer to liver non-parenchymal cells following intravenous administration of mannosylated cationic liposomes,

Journal of Controlled Release, 108 (2-3), 484-495 (2005)

16) S. Kawakami, P. Opanasopit, M. Yokoyama, N. Chansri, T. Yamamoto, T. Okano, F. Yamashita, M. Hashida: Biodistribution characteristics of all-trans retinoic acid incorporated in liposomes and polymeric micelles following intravenous administration, J. Pharm. Sci., 94 (12), 2606-2615 (2005)

17) W. Yeeprae, S. Kawakami, Y. Higuchi, F. Yamashita, M. Hashida: Biodistribution characteristics of mannosylated and fucosylated O/W emulsions in mice,

Journal of Drug Targeting, 13 (6), 1-9 (2005) 18) S. Kawakami, Y. Ito, S. Fumoto, F. Yamashita, M. Hashida: Enhanced gene expression in lung by a stabilized lipoplex using sodium chloride for complex formation,

Journal of Gene Medicine, 7 (12), 1526-1533 (2005) 19) M. Hashida, S. Kawakami, F. Yamashita: Lipid carrier systems for targeted drug and gene delivery, Chemical & Pharmaceutical Bulletin 53 (8), 871-880 (2005)

20) <u>S. Kawakami</u>, M. Hashida: In vivo gene transfer by ligand-modified gene carriers, *Non-viral Gene Therapy*, K. Taira, K. Kataoka, T. Niidome (Ed.) Springer, Tokyo, pp. 226-236 (2005)

21) T. Okuda, S. Kawakami, M. Hashida: Evaluation of gene expression in vivo after intravenous and intraportal administration of lipoplex, Non-viral Gene Therapy, K. Taira, K. Kataoka, T. Niidome (Ed.) Springer, Tokyo, pp. 323-330 (2005) 22) S. Kawakami, F. Yamashita, M. Hashida: Liposomal in vivo gene delivery, Modern Biopharmaceuticals, Jörg Knäblein (Ed.), Wiley-VCH, Verlag GmbH & Co. KgaA, Weinheim, pp. 1507-1519 (2005)23) T. Okuda, S. Kawakami, N. Akimoto, T. Niidome, F. Yamashita, M. Hashida: PEGylated dendritic poly(L-lysine)s for tumor-selective targeting following the intravenous injection in mice, Journal of Controlled Release, 116(3), 330-336 (2006) 24) Y. Saito, S. Kawakami, Y. Yabe, F. Yamashita, M. Hashida: Intracellular trafficking is the important process that determines the optimal charge ratio on transfection by galactosylated lipoplex in HepG2 cells, Biological & Pharmaceutical Bulletin, 29(9), 1986-1990 (2006) 25) T. Terada, M. Mizobata, S. Kawakami, Y. Yabe, F. Yamashita, M. Hashida: Basic fibroblast growth factor-binding peptide as a novel targeting ligand of drug carrier to tumor cells, Journal of Drug Targeting, 14 (8), 536-545 (2006) 26) W. Yeeprae, S. Kawakami, F. Yamashita, M. Hashida: Effect of mannose density on mannose receptor-mediated cellular uptake of mannosylated O/W emulsions by macrophages, Journal of Controlled Release, 114 (2), 193-201 (2006) 27) Y. Hattori, S. Kawakami, K. Nakamura, F. Yamashita, M. Hashida: Efficient gene transfer into macrophages and dendritic cells by in vivo gene delivery with mannosylated lipoplex via intraperitoneal route, Journal of Pharmacology and Experimental . Therapeutics, 318 (2), 828-834 (2006) 28) T. Okuda, S. Kawakami, T. Maeie, T. Niidome, F. Yamashita, M. Hashida: Biodistribution characteristics of amino acid dendrimers and its PEGylated derivative after intravenous administration, Journal of Controlled Release, 114 (1), 69-77 (2006) 29) Y. Higuchi, S. Kawakami, S. Fumoto, F. Yamashita, M. Hashida: Effect of particle size of galactosylated lipoplex on hepatocyte-selective gene transfection after intraportal administration, Biological & Pharmaceutical Bulletin, 29 (7), 1521-1523 (2006) 30) M. Teshima, S. Kawakami, S. Fumoto, K. Nishida, J. Nakamura, M. Nakashima, H. Nakagawa, N. Ichikawa, H. Sasaki: PEGylated liposomes loading palmitoyl prednisolone for prolonged blood concentration of prednisolone, Biological & Pharmaceutical Bulletin, 29 (7), 1436-1440 (2006) 31) Y. Higuchi, S. Kawakami, M. Oka, Y. Yabe, F. Yamashita, M. Hashida: Intravenous administration of mannosylated cationic liposome/NFkB decoy complexes effectively prevent LPS-induced cytokine production in a murine liver failure model, FEBS Letters, 580 (15), 3707-3714 (2006)

32) Y. Hattori, S. Kawakami, Y. Lu, K. Nakamura, F.

Yamashita, M. Hashida: Enhanced DNA vaccine potency by mannosylated lipoplex after intraperitoneal administration, Journal of Gene Medicine, 8 (7), 824-834 (2006) 33) S. Kawakami, Y. Ito, P. Charoensit, F. Yamashita, M. Hashida: Evaluation of proinflammatory cytokine production induced by linear and branched polyethylenimine/plasmid DNA complexes in mice, Journal of Pharmacology and Experimental Therapeutics, 317 (3), 1382-1390 (2006) 34) T. Terada, M. Iwai, S. Kawakami, F. Yamashita, M. Hashida: Novel PEG-matrix metalloproteinase-2 cleavable peptide-lipid containing galactosylated liposomes for hepatocellular carcinoma-selective targeting, Journal of Controlled Release, 111 (3), 333-342 (2006) 35) Y. Higuchi, S. Kawakami, M. Oka, F. Yamashita, M. Hashida: Suppression of TNF( production in LPS induced liver failure mice after intravenous injection of cationic liposomes/NFkB decoy complex, Pharmazie, 61 (2), 144-147 (2006) 36). K. Shigeta, S. Kawakami, Y. Higuchi, T. Okuda, H. Yagi, F. Yamashita, and M. Hashida: Novel histidine-conjugated galactosylated cationic liposomes for efficient hepatocyte-selective gene transfer in human hepatoma HepG2 cells, Journal of Controlled Release, 118, (2), 262-270 (2007) 37) A. Sato, M. Takagi, A. Shimamoto, S. Kawakami, M. Hashida: Small interfering RNA delivery to the liver by intravenous administration with galactosylated cationic liposomes, Biomaterials, 28 (7), 1434-1442 (2007) 38) Y. Higuchi, S. Kawakami, F. Yamashita, M. Hashida: The potential role of fucosylated cationic liposome/NFkB decoy complexes in the treatment of cytokine-related liver disease,

# 2. 学会発表

Biomaterials, 28 (3), 532-539 (2007)

39) T. Terada, M. Mizobata, S. Kawakami, F.

Yamashita, and M. Hashida: Optimization of

Journal of Controlled Release, in press (2007)

tumor-selective targeting by basic fibroblast growth

factor-binding peptide grafted PEGylated liposomes,

- 1) 服部芳幸、呂 言、川上 茂、山下富義、橋田 充:マンノース修飾リポソームを用いたマクロファージに対する *in vivo* 遺伝子導入における投与経路の影響、*日本薬学会第 124 年会、2004* 年 3 月 29-31 日、大阪.
- 2) 麓伸太郎、川上茂、重田耕佑、山下富義、橋田 充: ガラクトース修飾リポソーム/pDNA 電荷制御 複合体の in vivo 遺伝子導入効率改善機構の解析、 日本薬学会第 124 年会、2004年3月 29-31日、大 阪、
- 3) Y. Ito, <u>S. Kawakami</u>, F. Yamashita, and M. Hashida: Influence of physicochemical properties of lipoplex on acute toxicity and gene expression after intravenous administration, *Pharmaceutical Sciences World Congress (PSWC 2004)*, May 30-June 3, 2004, Kyoto.
  4) Y. Lu, Y. Hattori, <u>S. Kawakami</u>, F. Yamashita, and M. Hashida: Efficient gene transfection to macrophages

- following the intraperitoneal injection of mannosylated lipoplex in mice, *Pharmaceutical Sciences World Congress (PSWC 2004)*, May 30-June 3, 2004, Kyoto.
- 5) K. Shigeta, S. Fumoto, S. Kawakami, Y. Ito, F. Yamashita, and M. Hashida: Effect of blood components on in vivo gene expression by galactosylated liposome/plasmid DNA complex, Pharmaceutical Sciences World Congress (PSWC 2004), May 30-June 3, 2004, Kyoto.
- 6) Y. Hattori, Y. Lu, <u>S. Kawakami</u>, F. Yamashita, and M. Hashida: Enhanced cytotoxic T lymphocytes (CTL) activity of DNA vaccine using novel mannosylated cationic liposomes, *Pharmaceutical Sciences World Congress (PSWC 2004)*, May 30-June 3, 2004, Kyoto.
- 7) Y. Higuchi, M. Nishikawa, <u>S. Kawakami</u>, F. Yamashita, and M. Hashida: Uptake of NFκB decoy and inhibition of NFκB activation in RAW 264.7 cells, *Pharmaceutical Sciences World Congress (PSWC 2004)*, May 30-June 3, 2004, Kyoto.
- 8) S. Kawakami, S. Fumoto, K. Shigeta, Y. Ito, F. Yamashita, and M. Hashida: Enhanced hepatocyte-selective in vivo gene transfer by stabilized galactosylated lipoplex using sodium chloride on complex formation, *Pharmaceutical Sciences World Congress (PSWC 2004)*, May 30-June 3, 2004, Kyoto.
- 9) 服部芳幸、呂 言、川上茂、山下富義、橋田充:マンノース修飾リポソームを用いたDNAワクチンの細胞選択的遺伝子導入による細胞障害性 T 細胞(CTL)誘導効果の増強、第20回日本DDS学会、2004年7月15-16日、東京.
- 10) 伊藤佳孝、波々伯部美幸、川上茂、山下富義、 橋田充: Lipoplex の静脈内投与による IL-12 の肺選 択的遺伝子導入、第 20 回日本 DDS 学会、2004 年 7月 15-16 日、東京.
- 11) 鈴木幸子、川上茂、山下富義、橋田充: カチオン性リポソームによる全トランスレチノイン酸 (ATRA) の肺癌細胞株 A549 に対する抗癌作用の増強、第 20 回日本 DDS 学会、2004 年 7 月 15-16日、東京.
- 12) Y. Ito, <u>S. Kawakami</u>, F. Yamashita, and M. Hashida: In vivo cytokine response against polyethyleneimine/plasmid DNA complexes after intravenous administration, 第19回日本薬物動態学会, 2004年11月17—19日,金沢.
- 13) <u>川上 茂</u>、伊藤佳孝、山下富義、橋田 充: リポプレックスおよびポリプレックスの静脈内投与による免疫応答の評価、日本薬剤学会 20 周年記念大会、2005 年 3 月 25-27 日、東京.
- 14) 川上 茂、服部芳幸、中村和美、山下富義、橋田 充: DNA ワクチン療法のためのマンノース修飾リポソームの開発、日本薬学会第 125 年会、2005年 3月 29-31 日、東京.
- 15) 川上 茂、樋口ゆり子、山下富義、橋田 充: Kupffer 細胞指向型ナノ微粒子の構築と核酸医薬品療法への応用、ナノ学会第3回大会、2005年5月8-10日、仙台.
- 16) 重田耕佑、川上茂、山下富義、橋田充:プロトンスポンジ機能を有する新規ガラクトース修飾リポソームを用いた遺伝子導入能の評価、第21

- 回日本 DDS 学会、2005 年 7 月 22-23 日、佐世保. 17) 川上 茂、山下富義、橋田 充: 糖修飾リポソームを用いた遺伝子デリバリーと治療への応用、第 21 回日本 DDS 学会、2005 年 7 月 22-23 日、佐世保.
- 18) 川上 茂、山下富義、橋田 充: 糖修飾カチオン性リポソームを用いた遺伝子・核酸医薬品の細胞選択的デリバリー、第54回高分子討論会、2005年9月20-22日、山形.
- 19) <u>川上 茂</u>: リポソームによる遺伝子・核酸医薬 品の細胞特異的ターゲティング、第 1 回創剤フォーラム若手発表会、2005 年 9 月 29-30 日、東京.
- 20) <u>S. Kawakami</u>: Mannosylated cationic liposomes for DNA vaccine therapy, the 8 th US-Japan symposium on drug delivery systems, 2005 年 12 月 18 22 日, Maui, USA.
- 21) 川上 茂、橋田 充:ドラッグデリバリー、第56回医用高分子研究会、2006年3月8日、東京. 川上 茂、橋田 充:細胞選択的遺伝子ターゲティングシステムの開発と遺伝子治療への応用、第22回日本DDS学会、日本DDS学会、2006年7月7日、東京
- 22) <u>川上 茂</u>: 薬物および遺伝子ターゲティングを 目的とした DDS キャリアの開発、第 21 回生物薬 剤学サマーセミナー、2006 年 8 月 7 日、京都
- 23) <u>川上 茂</u>: 細胞選択的遺伝子ターゲティングを 目的とした糖修飾リポソームの開発に関する研究、 第8回製剤研究フォーラム、万有生命科学振興財 団、2006年9月15日、京都
- 24) 川上 茂、橋田 充:樹状細胞選択的遺伝子送達キャリアを用いた新規 DNA ワクチン療法の開発、第 65 回日本癌学会総会、日本癌学会、2006 年 9 月 29 日、横浜
- 25) 川上 茂:糖修飾リポソームによる細胞選択的 遺伝子ターゲティングシステムの開発、第 21 回日本薬物動態学会年会、2006 年 11 月 30 日、東京 26) 川上 茂:細胞選択的ターゲティングを目的とした糖修飾リポソームの開発と遺伝子治療への応用、日本薬学会第 127 年会、2007 年 3 月 28 日 H. 財産権の出願・登録状況
- 1.特許取得
- 1) 川上 茂、橋田 充、嶋本 顕、高木基樹、佐藤あゆみ:肝指向性リポソーム組成物:(特願2005-308288)、出願人:国立大学法人京都大学、ジーンケア研究所
- 2) <u>川上 茂</u>、橋田 充、樋口ゆり子: 免疫担当細胞指向型オリゴヌクレオチド・リポソーム複合体 (特願 2005-008307)、出願人:国立大学法人京都大学
- 2. 実用新案登録 なし
- 3.その他 なし

| 発表者氏名                                                              | 論文タイトル名                                                                                                                                                                    | 発表誌名                                                  | 巻号      | ページ       | 出版年  |
|--------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|---------|-----------|------|
| T. Terada M. Mizobata S. Kawakami F. Yamashita M. Hashida          | Optimization of tumor-selective targeting by basic fibroblast growth factor-binding peptide grafted PEGylated liposomes                                                    | Journal of Controlled<br>Release                      |         | in press  |      |
| Y. Higuchi S. Kawakami F. Yamashita M. Hashida                     | The potential role of fucosylated cationic liposome/NFkB decoy complexes in the treatment of cytokine-related liver disease                                                | Biomaterials                                          | 28(3)   | 532-539   | 2007 |
| A. Sato M. Takagi A. Shimamoto S. Kawakami M. Hashida              | Small interfering RNA delivery to<br>the liver by intravenous<br>administration of galactosylated<br>cationic liposomes in mice                                            | Biomaterials                                          | 28(7)   | 1434-1442 | 2007 |
| T. Okuda S. Kawakami N. Akimoto T. Niidome F. Yamashita M. Hashida | PEGylated lysine dendrimers for<br>tumor-selective targeting after<br>intravenous injection in<br>tumor-bearing mice                                                       | Journal of Controlled<br>Release                      | 116(3)  | 330-336   | 2006 |
| Y. Saito S. Kawakami Y. Yabe F. Yamashita M. Hashida               | Intracellular trafficking is the important process that determines the optimal charge ratio on transfection by galactosylated lipoplex in HepG2 cells                      | Biological and<br>Pharmaceutical<br>Bulletin          | 29(9)   | 1986-1990 | 2006 |
| T. Terada M. Mizobata S. Kawakami Y. Yabe F. Yamashita M. Hashida  | Basic fibroblast growth factor-binding peptide as a novel targeting ligand of drug carrier to tumor cells                                                                  | Journal of Drug Targeting                             | 14(8)   | 536-545   | 2006 |
| Y. Higuchi S. Kawakami M. Oka Y. Yabe F. Yamashita M. Hashida      | Intravenous administration of mannosylated cationic liposome/NFkappa B decoy complexes effectively prevent LPS-induced cytokine production in a murine liver failure model | FEBS Letters                                          | 580(15) | 3706-3714 | 2006 |
| T. Okuda S. Kawakami T. Maeie T. Niidome F. Yamashita M. Hashida   | Biodistribution characteristics of amino acid dendrimers and their PEGylated derivatives after intravenous administration                                                  | Journal of Controlled<br>Release                      | 114(1)  | 69-77     | 2006 |
| Y. Hattori S. Kawakami K. Nakamura F. Yamashita M. Hashida         | Efficient gene transfer into macrophages and dendritic cells by in vivo gene delivery with mannosylated lipoplex via the intraperitoneal route                             | Journal of Pharmacology and Experimental Therapeutics | 318(2)  | 828-834   | 2006 |
| Y. Higuchi S. Kawakami S. Fumoto F. Yamashita M. Hashida           | Effect of the particle size of galactosylated lipoplex on hepatocyte-selective gene transfection after intraportal administration                                          | Biological and<br>Pharmaceutical<br>Bulletin          | 29(7)   | 1521-1523 | 2006 |

| W. Yeeprae S. Kawakami F. Yamashita                                                           | Effect of mannose density on mannose receptor-mediated cellular uptake of mannosylated O/W                                                                | Journal of Controlled<br>Release                      | 114(2)   | 193-201   | 2006 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|----------|-----------|------|
| M. Hashida S. Kawakami Y. Ito P. Charoensit F. Yamashita M. Hashida                           | emulsions by macrophages  Evaluation of proinflammatory cytokine production induced by linear and branched polyethylenimine/plasmid DNA complexes in mice | Journal of Pharmacology and Experimental Therapeutics | 317(3)   | 1382-1390 | 2006 |
| T. Terada M. Iwai S. Kawakami F. Yamashita M. Hashida                                         | Novel PEGmatrix metalloproteinase-2 cleavable peptide-lipid conntaining galactosylated liposomes for hepatocellular carcinoma-selective targeting         | Journal of Controlled<br>Release                      | 111(3)   | 333-342   | 2006 |
| Y. Hattori S. Kawakami Y. Lu K. Nakamura F. Yamashita M. Hashida                              | Enhanced DNA vaccine potency by mannosylated lipoplex after intraperitoneal administration                                                                | Journal of Gene<br>Medicine                           | 8(7)     | 824-834   | 2006 |
| Y. Higuchi S. Kawakami M. Oka F. Yamashita M. Hashida                                         | Suppression of TNFa production in LPS induced liver failure mice after intravenous injection of cationic liposome/NFkB decoy complex                      | Pharmazie                                             | 61(2)    | 144-147   | 2006 |
| S. Fumoto S. Kawakami K. Shigeta Y. Higuchi F. Yamashita M. Hashida                           | Interaction with blood components plays a crucial role in asialoglycoprotein receptor-mediated in vivo gene transfer by galactosylated lipoplex           | Journal of Pharmacology and Experimental Theraputics  | 315(2)   | 484-493   | 2005 |
| W. Yeeprae S. Kawakami Y. Higuchi F. Yamashita M. Hashida                                     | Biodistribution characteristics of mannosylated and fucosylated O/W emulsions in mice                                                                     | Journal of Drug Targeting                             | 13(8-9)  | 479-487   | 2005 |
| Y. Hastida Y. Hattori S. Suzuki S. Kawakami F. Yamashita M. Hashida                           | The role of dioleoylphosphatidylethanolamine (DOPE) in targeted gene delivery with mannosylated cationic liposomes via intravenous route                  | Journal of Controlled<br>Release                      | 108(2-3) | 484-495   | 2005 |
| Y. Higuchi S. Kawakami M. Nishikawa F. Yamashita M. Hashida                                   | Intracellular distribution of NFkB decoy and its inhibitory effect on TNFa production by LPS stimulated RAW 264.7 cells                                   | Journal of Controlled<br>Release                      | 107(2)   | 373-382   | 2005 |
| S. Kawakami P. Opanasopit M. Yokoyama N. Chansri T. Yamamoto T. Okano F. Yamashita M. Hashida | Biodistribution characteristics of all-trans retinoic acid incorporated in liposomes and polymeric micelles following intravenous administration          | Journal of Pharmaceutical Sciences                    | 94(12)   | 2606-2615 | 2005 |
| S. Kawakami Y. Ito S. Fumoto F. Yamashita M. Hashida                                          | Enhanced gene expression in lung<br>by a stabilized lipoplex using<br>sodium chloride for complex<br>formation                                            | Journal of Gene<br>Medicine                           | 7(12)    | 1526-1533 | 2005 |

| C. Managit S. Kawakami F. Yamashita M, Hashida                                                           | Effect of galactose density on asialoglycoprotein receptor-mediated uptake of galactosylated liposomes                                                                                          | Journal of Pharmaceutical Sciences                          | 94(10)   | 2266-2275 | 2005 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|----------|-----------|------|
| C. Managit S. Kawakami F. Yamashita M. Hashida                                                           | Uptake characteristics of galactosylated emulsion by HepG2 hepatoma cells                                                                                                                       | International Journal of<br>Pharmaceutics                   | 301(1-2) | 255-261   | 2005 |
| Y. Arakawa S. Kawakami F. Yamashita M. Hashida                                                           | Effect of low-molecular-weight  ß-cyclodextrin polymer on release of drugs from mucoadhesive buccal film dosage forms                                                                           | Biological &<br>Pharmaceutical<br>Bulletin                  | 28(9)    | 1679-1683 | 2005 |
| M. Hashida S. Kawakami F. Yamashita                                                                      | Lipid carrier systems for targeted drug and gene delivery                                                                                                                                       | Chemical &<br>Pharmaceutical<br>Bulletin                    | 53(8)    | 871-880   | 2005 |
| S. Kawakami<br>M. Hashida                                                                                | In vivo gene transfer by ligand-modified gene carriers                                                                                                                                          | Non-viral Gene Therapy (Ed. K.Taira, K.Kataoka, T. Niidome) |          | 226-236   | 2005 |
| T. Okuda<br>S. Kawakami<br>M. Hashida                                                                    | Evaluation of gene expression in vivo after intravenous and intraportal administration of lipoplexes                                                                                            | Non-viral Gene Therapy (Ed. K.Taira, K.Kataoka, T. Niidome) |          | 323-330   | 2005 |
| S. Kawakami<br>F. Yamashita<br>M. Hashida                                                                | Liposomal in vivo gene delivery                                                                                                                                                                 | Modern Biopharmaceuticals (Ed. J Knablein)                  |          | 1507-1519 | 2005 |
| Y. Hattori S. Kawakami S. Suzuki F. Yamashita M. Hashida                                                 | Enhancement of immune responses<br>by DNA vaccination through<br>targeted gene delivery using<br>mannosylated cationic liposome<br>formulations following intravenous<br>administration in mice | Biochemical and<br>Biophysical Research<br>Communications   | 317(4)   | 992-999   | 2004 |
| S. Fumoto S. Kawakami Y. Ito K. Shigeta F. Yamashita M. Hashida                                          | Enhanced hepatocyte-selective in vivo gene expression by stabilized galactosylated liposome/plasmid DNA complex using sodium chloride for complex formation                                     | Molecular Therapy                                           | 10(4)    | 719-729   | 2004 |
| M. Yamada<br>M. Nishikawa<br><u>S. Kawakami</u><br>Y. Hattori<br>T. Nakano<br>F. Yamashita<br>M. Hashida | Tissue and intrahepatic distribution<br>and subcellular localization of a<br>mannosylated lipoplex after<br>intravenous administration in mice                                                  | Journal of Controlled<br>Release                            | 98(1)    | 157-167   | 2004 |
| S. Kawakami<br>Y. Hattori<br>Y. Lu<br>Y. Higuchi<br>F. Yamashita<br>M. Hashida                           | Effect of cationic chrge on receptor-mediated transfection using mannosylated cationic liposome/plasmid DNA complexes following the intravenous administration in mice                          | Pharmazie                                                   | 59(5)    | 405-408   | 2004 |
| Y. Higuchi<br>M. Nishikawa<br>S. Kawakami<br>F. Yamashita<br>M. Hashida                                  | Uptake characteristics of mannosylated and fucosylated bovine serum albumin in primary cultured rat sinusoidal endothelial cells and Kupffer cells                                              | International Journal of<br>Pharmaceutics                   | 287(1-2) | 147-154   | 2004 |

| E. Ishida C. Managit S. Kawakami M. Nishikawa F. Yamashita M. Hashida                                  | Biodistribution characteristics of galactosylated emulsions and incorporated probucol for hepatocyte-selective targeting of lipophilic drugs in mice | Pharmaceutical<br>Research             | 21(6) | 932-939 | 2004 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|-------|---------|------|
| S. Kawakami A. Harada K. Sakanaka K. Nishida J. Nakamura T. Sakaeda N. Ichikawa M. Nakashima H. Sasaki | In vivo gene transfection via intravitreal injection of cationic liposome/plasmid DNA complexes in rabbits                                           | International Journal of Pharmaceutics | 278   | 255-262 | 2004 |
| M. Teshima S. Kawakami K. Nishida J. Nakamura T. Sakaeda H. Terazono T. Kitahara M. Nakashima          | Prednisolone retention in integrated liposomes by chemical approach and pharmaceutical approach                                                      | Journal of Controlled<br>Release       | 97    | 211-218 | 2004 |
| K. Sakanaka K. Kawazu M. Tomonari T. Kitahara M. Nkashima S. Kawakami K. Nishida J. Nakamura H. Sasaki | Ocular pharmacokinetic/ pharmacodynamic modeling for bunazosin after instillation into rabbits                                                       | Pharmaceutical Research                | 21(5) | 770-776 | 2004 |

# Journal of Controlled Release

#### Full length paper

# Optimization of tumor-selective targeting by basic fibroblast growth factor-binding peptide grafted PEGylated liposomes

Takeshi Terada, Miki Mizobata, Shigeru Kawakami, Fumiyoshi Yamashita, and Mitsuru Hashida \*

Department of Drug Delivery Research, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Kyoto University, Kyoto 606-8501, Japan.

\*Correspondence: M. Hashida, Department of Drug Delivery Research, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Kyoto University, Kyoto 606-8501, Japan. Tel: 81 75 753 4525. Fax: 81 75 753 4575. E-mail: hashidam@pharm.kyoto-u.ac.jp

#### Abstract

We have previously shown that the peptide, KRTGQYKLC (bFGF), is recognized by fibroblast growth factor (FGF) receptor (FGFR) via binding to basic FGF (bFGF), and is capable of being used for drug delivery to tumors highly expressing FGFR and bFGF. However, although the binding and uptake of the liposomes (bFGFp-liposomes) modified by the peptide increased in the presence of bFGF, the modification induced non-specific uptake. To overcome this problem, here, we prepared bFGFp-liposomes including mPEG-DSPE. The 5 and 10% mPEG<sub>3000</sub>/bFGFp-liposomes reduced most of the interaction with erythrocytes and the uptake by macrophages, suggesting the sustained blood circulation of bFGFp grafted PEGylated liposomes. Furthermore, 10% mPEG<sub>3000</sub>/bFGFp-liposomes produced a significant increase in uptake in NIH3T3, A549, and B16BL6 cells with the expression of FGFR following pre-incubation with bFGF, but no increase in CHO-K1 cells lacking FGFR expression. Taken together, these results lead us to believe that bFGFp grafted PEGylated liposomes possess the functions of both PEGylated stealth liposomes and the tumor-targeting liposomes. This strategy could be applied to the development of novel tumor-selective drug delivery systems.

Keywords: Drug delivery system; Liposomes; Targeting; bFGFp-liposomes, Cancer

#### 1. Introduction

Tumor cells, such as melanoma, breast cancer, and prostate cancer, are reported to exhibit overexpression of basic fibroblast growth factor (bFGF) and FGF receptors (FGFR) (1-3). Furthermore, such tumors have high concentrations of bFGF (4), a multi-functional protein, which has mitogenic, chemotactic, and angiogenic activities and plays an autocrine role in tumor angiogenesis and progression (5-9).

It has been reported that residues 117-126 of bFGF might interact with bFGF itself (10). Recently, we have shown that the peptide KRTGQYKLC (bFGFp) containing cysteine at the carboxyl terminal of residues 119-126 of bFGF is able to bind to bFGF and is recognized by FGFR via this binding (11). The binding of bFGFp to bFGF was also higher than that to albumin which is the major serum protein, and the dissociation constant was very low. Based on these findings, we have demonstrated that bFGFp grafted liposomes (bFGFp-liposomes) are specifically taken up by tumor cells highly expressing FGFR via binding to bFGF, suggesting that it could be used as a novel drug delivery carrier to target tumors. However, it was also shown that the non-specific binding of bFGFp-liposomes by bFGFp is high. Therefore, further optimization is needed to reduce the non-specific binding for the *in vivo* use of bFGFp-liposomes for tumor-specific targeting.

It has been reported that polyethyleneglycol (PEG)-grafted liposomes are not highly recognized by the reticulo-endothelial system (RES) and they remain longer in the blood circulation than conventional liposomes (12-15). Accordingly, in the design of bFGFp-liposomes, one approach is to conjugate bFGFp to the liposomal PEG terminals. This strategy has been reported to be an effective targeting approach to reduce non-specific binding (16). However, Savva et al. showed that PEG-grafted liposomes bearing genetically modified recombinant tumor necrosis factor-α on the PEG terminals exhibited rapid plasma elimination and high accumulation in liver and spleen (17). Furthermore, they suggested that not all biological molecules are suitable as targeting ligands when exposed to the grafted PEG extremities of liposomes circulating for long periods. Since bFGFp contains many basic amino residues, the bFGFp-liposomes possess a positive charge on the liposomal surface even if pFGFp is conjugated to the liposomal PEG terminals. The positive charge may induce rapid uptake by RES and non-specific binding with unexpected cells, such as erythrocytes, after intravenous administration.

In the present study, to overcome this problem, we prepared bFGFp-liposomes containing mPEG-DSPE (bFGFp grafted PEGylated liposomes). This mPEG is expected to limit the interactions with RES and other non-target cells. Therefore, we evaluated the inhibitory effects on the uptake by macrophages, used as model cells of the RES, and the interaction with erythrocytes *in vitro*. Furthermore, the binding of bFGFp grafted PEGylated liposomes to bFGF can induce the specific uptake by the tumor cells expressing FGFRs due to the protrusion of the binding bFGF from the PEG layer.

#### 2. Materials and Methods

#### 2.1. Materials

Recombinant human bFGF was obtained from PeproTech EC. (London, UK). Recombinant human FGFR1\(\alpha\) (IIIc)/Fc chimera (FGFR1) was purchased from Techne Co. (Minneapolis, MN, USA). Distearoyl phosphatidylcholine (DSPC) was purchased from Sigma-Aldrich Co. (St. Louis, MO, USA). Cholesterol (Chol) and Clear-Sol I were obtained from Nacalai Tesque Inc. (Kyoto, Japan). [3H] CHE was purchased from NEN Life Science Products Inc. (Boston, MA, USA). The peptide KRTGQYKLC (bFGFp) was custom-made by Toray Research Center Inc. (Tokyo, Japan). mPEG3000-DSPE was purchased from Avanti Polar Lipids Inc. (Alabama, AL, USA). mPEG3000-DSPE and Maleimide-PEG2000-DSPE was purchased from NOF Co. Inc. (Tokyo, Japan). All other chemicals were reagent grade products obtained commercially.

#### 2.2. Cell lines

NIH3T3 mouse fibroblasts, A549 human lung cancer cells, and B16BL6 mouse melanoma cells were routinely grown in DMEM medium supplement with 10% FBS, 100 IU/mL penicillin, 100 µg/mL streptomycin, and 2 mM L-glutamine (all from Invitrogen Co., Carlsbad, CA, USA) in 5% CO<sub>2</sub>, humidified air at 37 °C. Chinese hamster ovary (CHO)-K1 cells were cultured in Ham's F12 medium supplemented with 10% FBS.

### 2.3. Synthesis of bFGFp-PEG-DSPE

Synthesis of bFGFp-PEG-DSPE was carried out by the method described previously (11). Briefly, 28 mg bFGFp (26 µmol) was dissolved in 2 mL 0.1 M HEPES buffer (pH 7.0) then 50 mg maleimide-PEG<sub>2000</sub>-DSPE (17 µmol) and 0.2 mL methanol were added to the bFGFp solution at 4 °C while stirring. The reaction was continued at 4 °C for 2 days. To remove the unreacted bFGFp, the solution was dialyzed against distilled water using a suitable dialysis membrane (3.5 kDa cut-off), and lyophilized. TLC analysis and ninhydrin assay showed the disappearance of free maleimide-PEG<sub>2000</sub>-DSPE and the appearance of bFGFp-PEG<sub>2000</sub>-DSPE, indicating that the reaction had gone to completion. The purity of the synthesized bFGFp-PEG-DSPE was calculated by fluorescamine assay (18) and found to be over 90% on the basis of the bFGFp amino acids. Furthermore, 10 mM L-cysteine solution and the product were mixed at room temperature for 1 h to consume any free maleimide-PEG<sub>2000</sub>-DSPE, followed by dialysis and lyophilization.

# 2.4. Preparation of liposomes

Liposomes were prepared by our previously reported method (19-21). Each lipid mixture (DSPC, Chol, mPEG<sub>3000</sub>-DSPE, and mPEG<sub>5000</sub>-DSPE) was dissolved in chloroform and evaporated to dryness. bFGFp-PEG-DSPE was solved in a mixed organic solvent (chloroform:methanol = 1:1) beforehand. [<sup>3</sup>H] CHE or PE-fluorescein (1 mol %) was added to the liposomes for the uptake study and confocal microscopy, respectively. The dried lipid films were hydrated in PBS, sonicated at 65 °C for 3 min, and then extruded through 0.2 µm pore size polycarbonate filters. Mean particle diameters were determined by laser light scattering using a Zetasizer Nano ZS instrument (Malvern Instruments, Malvern, UK). All liposomes were similar in size (an average diameter of approximately 100 nm) as shown in Table 1.

#### 2.5. Quartz crystal microbalance (QCM) biosensor system

Binding analysis between bFGF and bFGFp-liposomes was performed with a 27 MHz QCM instrument (AffinixQ, Initium Inc, Tokyo, Japan). bFGF was immobilized on a ceramic sensor chip using an amine coupling reaction. A drop of 5 mM DTDP was applied to a sensor chip to immobilize the DTDP directly on the gold electrode surface of the chip by an Au-thiol interaction. After 24 h, the sensor chip was then activated by adding a coupling solution including 50 mg/mL EDC and 50 mg/mL NHS. Immobilization of bFGF onto the QCM was achieved by coating the surface with 50  $\mu$ g/mL bFGF solutions for 2 h at room temperature, followed by rinsing with water. To block the activated surface and nonspecific binding sites, the surface was exposed to 50 mM Tris buffer (pH 8.0) and the purchased blocking solution (Initium Inc., Tokyo, Japan) for 30 min and then washed with water. After immersing the prepared sensor chip in 8 mL 10 mM HEPES buffer (pH 7.4) containing 150 mM NaCl, with gentle stirring at 37 °C, each sample was added to the buffer and the interaction was investigated by monitoring the alterations in frequency ( $\Delta F$ ) resulting from changes in mass at the electrode surface.

Binding analysis between erythrocytes and each mPEG/bFGFp-liposome preparation was performed with a 27 MHz QCM instrument. Fresh blood from male ICR mice was collected in a heparinized syringe. The mice were obtained from Shizuoka Agricultural Co-operative Association for Laboratory Animals (Shizuoka, Japan). Erythrocytes were washed three times on ice in order to remove serum proteins and resuspended in 10 mM HEPES buffer (pH 7.4) containing 150 mM NaCl. Erythrocytes were immobilized on a ceramic sensor chip by an amine coupling reaction. Briefly, 10% erythrocyte suspension (erythrocyte volume/erythrocyte suspension volume %) was added to the activated surface of the sensor chip by the method described above. After 1 h at 4 °C, the surface was rinsed with PBS. To block the activated surface and nonspecific binding sites, the surface was exposed to 50 mM Tris buffer (pH 8.0) containing 150 mM NaCl and the purchased blocking solution (initium Inc., Tokyo, Japan) for 30 min at 4 °C and then washed with PBS. After immersing the prepared sensor chip in 8 mL 10 mM HEPES buffer (pH 7.4) containing 150 mM NaCl, with gentle stirring at 37 °C, each liposome preparation was added to the buffer in the following order: 10 and 5% mPEG<sub>5000</sub>/bFGFp-liposomes, 10% mPEG<sub>3000</sub>-bFGFp-liposomes, and bFGFp-liposomes. The interaction was investigated by monitoring alterations in frequency (ΔF) resulting from changes in mass at the electrode surface.

# 2.6. Surface plasmon resonance (SPR) spectroscopy assay

SPR measurement was performed using a BIAcore X instrument (BIAcore, Uppsala, Sweden) by our previously reported method (11, 22). FGFR1 was immobilized on the surface of a CM5 sensor chip using the standard amine coupling procedure of the manufacturer. Briefly, the surface of the chip consisting of flow cells 1 and 2 was activated by exposing them to a mixture of 0.05 M N-hydroxysuccinimide (NHS) and 0.2 M N-ethyl-N'-dimethylaminopropyl carbodiimide (EDC) for 7 min. Flow cell 1 was immobilized with FGFR1 in acetate buffer (pH 4.0). The amount of the immobilization was approximately 5000 resonance units (RU). Flow cell 2 was immobilized with the same amount as flow cell 1 by BSA to be used as a blank sensorgram for subtraction of the bulk refractive index background. Finally, the unreacted sites of both immobilized flow cells were blocked with 0.1 M ethanolamine (pH 8.5). All reagents were injected at a flow rate of 5 μL/min.

In the binding measurements, each sample was adjusted to an appropriate concentration by using a buffer (10 mM HEPES, 150 mM NaCl, pH 7.4). Each sample solution was allowed to flow at 20  $\mu$ L/min for 3 min at 25 °C and dissociated for 3 min. The regeneration of the sensor chip was carried out by injection of 50 mM HCl.

# 2.7. Cellular uptake study in macrophages

A cellular uptake study in macrophages was performed using our previously reported method (23). Briefly, five-week-old male ICR mice were obtained from Shizuoka Agricultural Co-operative Association for Laboratory Animals (Shizuoka, Japan). Resident macrophages were collected from the peritoneal cavity of unstimulated mice with serum free RPMI 1640 medium. Washed cells were suspended in RPMI 1640 medium supplemented with serum and plated on 12-well culture plates at a density of  $1 \times 10^6$  cells / well. After incubation for 2 h at 37 °C in 5% CO<sub>2</sub> - 95% air, adherent macrophages were washed three times with RPMI 1640 medium to remove non-adherent cells and then cultured under the same conditions. After 48 h incubation, the cells were washed 3-times and incubated with HBSS containing 100  $\mu$ M (total lipids) of each [ $^3$ H] liposome form at 37 °C for 2 h. The radioactivity was measured as described above.

#### 2.8. Cellular association experiments

A cellular association study was performed using our previously reported method (11, 23). Briefly, NIH3T3, A549 and CHO-K1 cells were plated on 12-well culture plates at a density of  $1\times10^5$  cells/well. After 24 h incubation, cells were washed three times with Hanks' balanced salt solution (HBSS) and incubated with 100  $\mu$ M (total lipids) of each [ $^3$ H] liposome form, with or without

pretreatment of 1  $\mu$ g/mL bFGF, for the indicated time in HBSS at 37 °C. After 5 h, the solution was removed and cells were washed with ice-cold HBSS. Cells were then solubilized with 0.3 N NaOH with 0.1 % Triton-X-100 and the radioactivity in the cell lysate was measured using a well-type NaI-scintillation counter (ARC-500, Aloka, Tokyo, Japan). The amount of cellular protein in each cell lysate was estimated using a protein quantification kit (Dojindo Laboratory).

### 2.9. Confocal microscopic study

The confocal microscopic study was performed using a standard method (24, 25). Briefly, NIH3T3, A549, and B16BL6 cells were seeded on glass coverslips in 12-well plates at a density of  $1 \times 10^5$  cells/well. After complete adhesion, the cells were washed 3times with HBSS and incubated at 4 or 37 °C for 5 h with the fluorescent 10% mPEG<sub>3000</sub>/bFGFp-liposomes, with or without the pretreatment of 1 µg/mL bFGF, for 24 h in HBSS. After incubation, the liposome solution was removed, and the cells were washed 3 times with HBSS, followed by fixing with 4% parafolmaldehyde in PBS, and incubating at room temperature for more than 20 min. After washing twice with PBS, the cells were mounted in glycerol:PBS (1:1) containing 2.5% 1,4-diazobicyclo (2,2,2) octane. Images were obtained by confocal laser scanning microscopy (MRC-1024, Bio-Rad, Hercules, CA, USA).

# 2.10. Statistical analysis

Statistical analysis was performed using Student's paired t-test for two groups. Multiple comparisons with the control group were performed by ANOVA with Dunnett's multiple-comparison test. P < 0.05 was considered to be indicative of statistical significance.

3. Results

#### 3.1. Interaction analysis of bFGFp-liposomes with bFGF

The interaction of bFGFp-liposomes with bFGF was investigated using the QCM biosensor system (Fig. 1). The 27-MHz QCM biosensor system used in this study has a sensitivity of 0.6 ng cm<sup>-2</sup> of mass change per 1 Hz of frequency decrease (26). bFGF was immobilized on a sensor chip coated with DTDP by amine coupling. Fig. 1 shows the typical frequency changes for the bFGF-immobilized QCM sensor chip, responding to additions of mPEG-liposomes or bFGFp-liposomes in solution. The addition of mPEG-liposomes produced no change in the frequency (mass). On the other hand, in the case of bFGFp-liposomes, the frequency decreased (mass increased), and the decrease was inhibited by the presence of excess bFGFp. Therefore, the frequency decrease indicated by the addition of bFGFp-liposomes is consistent with the mass increase due to the binding of bFGFp-liposomes to bFGF via the bFGFp present in the QCM biosensor system.

# 3.2. The binding of bFGFp-liposomes to FGFR1 via bFGF

Recently, we used SPR spectroscopy to show that BSA modified by bFGFp (bFGFp-BSA) interacts with FGFR1 via binding to bFGF (11). Here, we confirmed the interaction of bFGFp-liposomes with FGFR1 via binding to bFGF using the same method as in the previous report (11) (Fig. 2). FGFR1 was immobilized on the surface of a CM5 sensor chip by amine coupling. Non-specific binding of an analyte and any change in bulk refractive index were eliminated by immobilizing BSA as a control. Although bFGF showed a significantly high response signal (Fig. 2), no response signal was observed with bFGFp-liposomes. In addition, the response signal of bFGFp-liposomes pre-incubated with bFGF was much higher than that of bFGF itself, suggesting that bFGFp-liposomes pre-incubated with bFGF are capable of binding to FGFR1 via bFGF. These results were in good agreement with our previous report using bFGFp-BSA (11).

# 3.3. The effect of mPEG-DSPE on the uptake of bFGFp-liposomes by macrophages

Our previous study showed that bFGFp-liposomes exhibit a high degree of unspecific uptake in cells (11). As shown in Fig. 3, we also found a high uptake by macrophages used as model cells of mononuclear phagocytes in the RES. The high uptake by macrophages would lead to a reduced targeting efficiency to the tumor cells because of the high trapping by RES after intravenous administration. Therefore, we prepared mPEG/bFGFp-liposomes, without or with 1, 2.5, 5, and 10% of mPEG<sub>5000</sub>-DSPE and mPEG<sub>3000</sub>-DSPE, to reduce the non-specific binding and/or uptake. The cellular association in macrophages decreased with an increase in the amount of mPEG-DSPE. In particular, mPEG/bFGFp-liposomes containing 5 or 10% mPEG<sub>5000</sub>-DSPE (Fig. 3 (A)) and 10% mPEG<sub>3000</sub>-DSPE (Fig. 3 (B)) showed a significantly reduced uptake, suggesting prolonged circulation in the body after intravenous administration.

# 3.4. The effect of mPEG-DSPE on the interaction of mPEG/bFGFp-liposomes with erythrocytes

Furthermore, the effect of mPEG-DSPE on the interaction of mPEG-bFGFp-liposomes with erythrocytes was evaluated using a QCM biosensor system. Fig. 4 shows the typical frequency changes for the isolated erythrocyte-immobilized QCM sensor chip, responding to additions of each form of liposomes in the following order: 10 and 5% mPEG<sub>5000</sub>/bFGFp-liposomes, 10% mPEG<sub>3000</sub>/bFGFp-liposomes, and bFGFp-liposomes. The three kinds of mPEG/bFGFp-liposomes indicating the controlled uptake in macrophages exhibited no change in frequency (mass) in the QCM biosensor system, suggesting no interaction with erythrocytes. On the other hand, the frequency decreased (mass increased) following the addition of bFGFp-liposomes. The three

mPEG/bFGFp-liposomes are capable of controlling the interaction with erythrocytes via the bFGFp present on the surface of the liposomes.

#### 3.5. The effect of bFGF on the uptake of mPEG/bFGFp-liposomes by various cells

The cellular uptake via bFGF of the three mPEG/bFGFp-liposomes was examined (Fig. 5). NIH3T3 and A549 cells express FGFR, and CHO-K1 cells are known to lack these receptors (27). In these cells with or without FGFRs, the uptake of mPEG/bFGFp-liposomes was almost the same as that in macrophages, suggesting that the each incorporation of 5 or 10%mPEG5000-DSPE and 10% mPEG3000-DSPE is enough to inhibit the non-specific cellular uptake of bFGFp-liposomes. Furthermore, pre-incubation of mPEG3000/bFGFp-liposomes with bFGF produced a significant increase in the uptake in NIH3T3 and A549 cells. However, CHO-K1 cells exhibited no such increase while the two PEG5000/bFGFp-liposomes exhibited no uptake in NIH3T3 and A549 cells, even if pre-incubated with bFGF.

# 3.6. The binding or internalization of mPEG<sub>3000</sub>/bFGFp-liposomes to cells

To further demonstrate the binding of the labeled mPEG<sub>3000</sub>/bFGFp-liposomes with PE-fluorescein via bFGF to cells using confocal microscopy, the liposomes were incubated with NIH3T3 cells at 4 °C. Fluorescent signals of the liposomes pre-incubated with bFGF were observed on the surface of the cells, and these were much stronger than those of liposomes without bFGF (Fig. 6). In addition, the cellular internalization of the liposomes by confocal microscopy was examined in NIH3T3, A549, and B16BL6 cells, all of which are known to express FGFR (Fig. 7). In all the cells used, the images showed that the liposomes pre-incubated with bFGF were internalized, and the fluorescent signal was stronger than that of the liposomes without bFGF. These results were in good agreement with our previous study of cellular internalization using bFGFp-BSA.

# 3.7. The effect of the pre-incubation time of mPEG3000/bFGFp-liposomes with bFGF on the uptake in NIH3T3 cells

mPEG<sub>3000</sub>/bFGFp-liposomes were incubated with bFGF for 1 and 24 h, and the uptakes in NIH3T3 cells were compared with those of liposomes without bFGF (Fig. 8). Although the incubation for 1 h significantly increased the uptake, incubation of mPEG<sub>3000</sub>/bFGFp-liposomes for 24 h produced a higher increase in uptake. In spite of high association of bFGFp with bFGF, it took long time to equilibrate the interaction of mPEG-3000/bFGFp-liposomes with bFGF. This suggests that the incorporation of mPEG-DSPE in bFGFp-liposomes hinders the interaction of bFGFp with bFGF, and the successful targeting of the tumor takes some time.

# 4. Discussion

PEGylation provides drug carriers with steric stabilization, subsequently leading to reduce uptake by the RES and prolonged circulation in the body (15, 28, 29). Pharmacokinetic analysis and therapeutic studies with tumor-bearing mice have shown that PEG-liposomes have considerable potential as drug carriers for tumor therapy. These liposomes can exploit the "enhanced permeability and retention (EPR)" effect (30-32) for preferential extravasation from tumor vessels, which results in increased liposome accumulation in tumor tissues (33, 34). However, to produce more effective targeting of tumor cells, requires the development of novel liposomes exhibiting both a long circulation by PEGylation and the active targeting by the ligand.

In a previous report, we showed that the peptide KRTGQYKLC (bFGFp) can interact with FGFR1 via binding to bFGF, and is useful as the targeting ligand for tumor cells (11). The binding characteristics allow the development of novel PEG-liposomes for tumor therapy. First of all, we confirmed the binding of bFGFp-liposomes to bFGF and FGFR1 by using a QCM biosensor system and SPR spectroscopy, which has been widely used as an instrument to study a variety of biomolecular interactions, including liposome-protein (35, 36), DNA-protein (26) and protein-protein (37, 38). All liposomes were prepared with an average diameter of 100-200 nm (Table 1), which has been reported to result in a prolonged circulation time and high tumor accumulation (39, 40). bFGFp-liposomes interacted with bFGF via bFGFp (Fig. 1) and with FGFR1 via binding to bFGF (Fig. 2). These findings agree with our previous report using bFGFp-BSA (11).

To achieve prolonged blood circulation of bFGFp-liposomes in the body, we prepared mPEG/bFGFp-liposomes by adding mPEG-DSPE to bFGFp-liposomes. The steric hindrance of the added mPEG on the surface of bFGFp-liposomes results in a reduction in the non-specific binding caused by the bFGFp present. In this study, we selected two kinds of mPEG-DSPE containing PEG with an MW of 5000 or 3000. Since the MW of the bFGFp-PEG of the synthesized bFGFp-PEG-DSPE is approximately 3000, it appears that the two mPEG-DSPEs have a sufficient PEG to cover the bFGFp present. The high uptake by macrophages and strong interaction with erythrocytes in bFGFp-liposomes, which leads to early elimination from the blood and a low targeting efficiency, were significantly reduced by the addition of 5 and 10% mPEG<sub>5000</sub>/bFGFp- and 10% mPEG<sub>3000</sub>/bFGFp-liposomes (Figs. 3 and 4). These results lead us to believe that these bFGFp grafted PEGylated liposomes would exhibit a prolonged circulation in the body.

In the bFGFp grafted PEGylated liposomes, the targeting to tumor cells via binding to bFGF indicates the success of novel PEG-liposomes exhibiting both prolonged blood circulation and active tumor targeting. In practical terms, we showed that the pre-incubated mPEG<sub>3000</sub>/bFGFp-liposomes with bFGF exhibit specific binding to the cells expressing FGFR (Fig. 5). The addition of 10% mPEG<sub>3000</sub>-DSPE to bFGFp grafted liposomes abolished the binding by the bFGFp present on the liposomal surface, and the binding of bFGF to bFGFp could allow the targeting of tumor cells via FGFR by protrusion of the binding bFGF from the PEG layer. Furthermore, the receptor-mediated internalization demonstrated by confocal microscopy (Fig. 7) would allow the 10% mPEG3000/bFGFp-liposomes to avoid the action of multidrug resistant (MDR) transporters like P-glycoprotein and enhance the pharmacological effects of the antitumor drug as reported recently (41). We also found that pre-incubation with 10% mPEG<sub>3000</sub>/bFGFp-liposomes enhances the binding on the surface of NIH3T3 cells as shown by an *in vitro* study at 4 °C (Fig. 6),

suggesting that the targeting potential obtained by pre-incubation is not due to the physiological effects of bFGF itself. The difference in uptake between pre-incubation with 10% mPEG<sub>3000</sub>-bFGFp-liposomes for 1 and 24 h also suggests that the targeting is not due to physiological effects (Fig. 8). Furthermore, this result leads us to surmise that targeting via binding to bFGF would take a comparatively long time. Some tumor cells are reported to exhibit overexpression of bFGF and FGFRs (1-3), and such tissues contain high concentrations of bFGF (4). Taking these findings into consideration, liposomes with a prolonged blood circulation may accumulate in tumor tissues containing high concentrations of bFGF by the EPR effect, and subsequently lead to active targeting via binding to bFGF.

mPEG<sub>5000</sub>/bFGFp-liposomes exhibited no targeting effect on cells even if pre-incubated with bFGF. One possible reason for this is that the long PEG-chains could completely inhibit the interaction with bFGF, or else the bFGFp present could bind to bFGF, and the interaction of the bound bFGF with FGFR was blocked by the long PEG-chains on the liposomal surface. This finding agrees with a previous report showing that the immuno-specific antibody-antigen binding by immunoliposomes conjugated with a monoclonal IgG antibody could be reduced by the addition of PEG with an MW of 2000 (42). In the case of complicated binding, such as antibody-antigen and bFGF-FGFR, the addition of short PEG-chains could suppress the targeting effects of ligand-modified liposomes due to steric hindrance.

In the targeting system using ligands such as peptides, species differences area problem as far as successful clinical application is concerned. It has been reported that the homology between murine and human FGF-2 is high (95% homologous) (43). Moreover, the peptide KRTGQYKL used in the present investigation is completely homologous with both murine and human FGF-2. Therefore, further investigation of this strategy will provide us with information about the potential application to tumor therapy in humans.

In conclusion, we have succeeded in the development of novel PEG-liposomes for tumor targeting. mPEG/bFGFp-liposomes were prepared as novel PEG-liposomes by adding mPEG-DSPE to bFGFp-liposomes capable of targeting tumor cell expressing FGFR via binding to bFGF. The addition of 5 and 10% mPEG<sub>5000</sub>-DSPE and 10% mPEG<sub>3000</sub>-DSPE reduced the uptake by macrophages and interaction with erythrocytes. Furthermore, 10% mPEG<sub>3000</sub>/bFGFp-liposomes exhibited specific targeting of tumor cells via binding to bFGF. Further investigations involving in vivo studies, including the interaction with serum proteins and the targeting efficiency of the local bFGF concentrations in tumor tissue, are needed. However, our results suggest that the bFGFp grafted PEGylated liposomes exhibit both prolonged blood circulation by limiting the transfer to normal tissues and active targeting to cells in the tumor tissues. This strategy could be applied to the development of novel tumor-selective drug delivery systems.

# Acknowledgments

This work was supported in part by Grant-in-Aids for Scientific Research from the Ministry of Education, Culture, Sports, Science, and Technology of Japan, by Health and Labour Sciences Research Grants for Research on Advanced Medical Technology from the Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan, and by the 21st Century COE Program "Knowledge Information Infrastructure for Genome Science".

#### References

- [1] F. Penault-Llorca, F. Bertucci, J. Adelaide, P. Parc, F. Coulier, J. Jacquemier, D. Birnbaum, O. deLapeyriere, Expression of FGF and FGF receptor genes in human breast cancer, Int. J. Cancer 61 (1995) 170-176.
- [2] T. Danielsen, E.K. Rofstad, VEGF, bFGF and EGF in the angiogenesis of human melanoma xenografts, Int. J. Cancer 76 (1998) 836-841.
- [3] B. Kwabi-Addo, M. Ozen, M. Ittmann, The role of fibroblast growth factors and their receptors in prostate cancer, Endocr. Relat. Cancer 11 (2004) 709-724.
- [4] D. Giri, F. Ropiquet, M. Ittmann, Alterations in expression of basic fibroblast growth factor (FGF) 2 and its receptor FGFR-1 in human prostate cancer, Clin. Cancer Res. 5 (1999) 1063-1071.
- [5] R. Halaban, S. Ghosh, A. Baird, bFGF is the putative natural growth factor for human melanocytes, In Vitro Cell. Dev. Biol. 23 (1987) 47-52.
- [6] R. Halaban, B.S. Kwon, S. Ghosh, P. Delli Bovi, A. Baird, bFGF as an autocrine growth factor for human melanomas, Oncogene Res. 3 (1988) 177-186.
- [7] D.A. Lappi, Tumor targeting through fibroblast growth factor receptors, Semin. Cancer Biol. 6 (1995) 279-288.
- [8] A. Compagni, P. Wilgenbus, M.A. Impagnatiello, M. Cottén, G. Christofori, Fibroblast growth factors are required for efficient tumor angiogenesis, Cancer Res, 60 (2000) 7163-7169.
- [9] J.K. Dow, R.W. deVere White, Fibroblast growth factor 2: its structure and property, paracrine function, tumor angiogenesis, and prostate-related mitogenic and oncogenic functions, Urology 55 (2000) 800-806.
- [10] L. Kinsella, H.L. Chen, J.A. Smith, P.S. Rudland, D.G. Fernig, Interactions of putative heparin-binding domains of basic fibroblast growth factor and its receptor, FGFR-1, with heparin using synthetic peptides, Glycoconj. J. 15 (1988) 419-422.
- [11] T. Terada, M. Mizobata, S. Kawakami, Y. Yabe, F. Yamashita, M. Hashida, Basic fibroblast growth factor-binding peptide as a novel targeting ligand of drug carrier to tumor cells, J. Drug Target. 14 (2006) 536-545.
- [12] T.M. Allen, G.A. Austin, A. Chonn, L. Lin, K.C. Lee, Uptake of liposomes by cultured mouse bone marrow macrophages: influence of liposome composition and size, Biochim. Biophys. Acta 1061 (1991) 56-64.
- [13] D.D. Lasic, F.J. Martin, A. Gabizon, S.K. Huang, D. Papahadjopoulos, Sterically stabilized liposomes: a hypothesis on the molecular origin of the extended circulation times, Biochim. Biophys. Acta 1070 (1991) 187-192.
- [14] D. Needham, T.J. McIntosh, D.D. Lasic, Repulsive interactions and mechanical stability of polymer-grafted lipid membranes, Biochim. Biophys. Acta 1108 (1992) 40-48.
- [15] K. Maruyama, PEG-immunoliposome, Biosci. Rep. 22 (2002) 251-266.
- [16] H. Harashima, T. Ishida, H. Kamiya, H. Kiwada, Pharmacokinetics of targeting with liposomes, Crit. Rev. Ther. Drug Carrier Syst. 19 (2002) 235-275.
- [17] M. Savva, E. Duda, L. Huang, A genetically modified recombinant tumor necrosis factor-alpha conjugated to the distal terminals of liposomal surface grafted polyethyleneglycol chains, Int. J. Pharm. 184 (1999) 45-51.
- [18] P. Bohlen, S. Stein, W. Dairman, S. Udenfriend, Fluorometric assay of proteins in the nanogram range, Arch. Biochem. Biophys.

- 155 (1973) 213-220.
- [19] S. Kawakami, J. Wong, A. Sato, Y. Hattori, F. Yamashita, M. Hashida, Biodistribution characteristics of mannosylated, fucosylated, and galactosylated liposomes in mice, Biochim. Biophys. Acta 1524 (2000) 258-265.
- [20] S. Kawakami, C. Munakata, S. Fumoto, F. Yamashita, M. Hashida, Novel galactosylated liposomes for hepatocyte-selective targeting of lipophilic drugs, J. Pharm. Sci. 90 (2001) 105-113.
- [21] C. Managit, S. Kawakami, F. Yamashita, M. Hashida, Effect of galactose density on asialoglycoprotein receptor-mediated uptake of galactosylated liposomes, J. Pharm. Sci. 94 (2005) 2266-2275.
- [22] T. Terada, M. Nishikawa, F. Ymashita, M. Hashida, Analysis of the molecular interaction of glycosylated proteins with rabbit liver asialoglycoprotein receptors using surface plasmon resonance spectroscopy, J. Pharm. Biomed. Anal. 41 (2006) 966-972.
- [23] T. Terada, M. Iwai, S. Kawakami, F. Yamashita, M. Hashida, Novel PEG-matrix metalloproteinase-2 cleavable peptide-lipid containing galactosylated liposomes for hepatocellular carcinoma-selective targeting, J. Control. Release 111 (2006) 333-342.
- [24] N. Skalko, R. Peschka, U. Altenschmidt, A. Lung, R. Schubert, pH-sensitive liposomes for receptor-mediated delivery to chicken hepatoma (LMH) cells, FEBS Lett. 434 (1998) 351-356.
- [25] P. Opanasopit, Y. Higuchi, S. Kawakami, F. Yamashita, M. Nishikawa, M. Hashida, Involvement of serum mannan binding proteins and mannose receptors in uptake of mannosylated liposomes by macrophages. Biochim. Biophys. Acta 1511 (2001) 134-145.
- [26] H. Matsuno, K. Niikura, Y. Okahata, Direct monitoring kinetic studies of DNA polymerase reactions on a DNA-immobilized quartz-crystal microbalance, Chemistry 7 (2001) 3305-3312.
- [27] M. Rusnati, C. Urbinati, E. Tanghetti, P. Dell'Era, H. Lortat-Jacob, M. Presta, Cell membrane GM1 ganglioside is a functional coreceptor for fibroblast growth factor 2, Proc. Natl. Acad. Sci. U.S.A. 99 (2002) 4367-4372.
- [28] M. Harada-Shiba, K. Yamauchi, A. Harada, I. Takamisawa, K. Shimokado, K. Kataoka, Polyion complex micelles as vectors in gene therapy--pharmacokinetics and in vivo gene transfer, Gene Ther. 9 (2002) 407-414.
- [29] N. Nishiyama, S. Okazaki, H. Cabral, M. Miyamoto, Y. Kato, Y. Sugiyama, K. Nishio, Y. Matsumura, K. Kataoka, Novel cisplatin-incorporated polymeric micelles can eradicate solid tumors in mice, Cancer Res. 63 (2003) 8977-8983.
- [30] K. Greish, J. Fang, T. Inutsuka, A. Nagamitsu, H. Maeda, Macromolecular therapeutics: advantages and prospects with special emphasis on solid tumour targeting, Clin. Pharmacokinet. 42 (2003) 1089-1105.
- [31] T. Nakanishi, S. Fukushima, K. Okamoto, M. Suzuki, Y. Matsumura, M. Yokoyama, T. Okano, Y. Sakurai, K. Kataoka, Development of the polymer micelle carrier system for doxorubicin, J. Control. Release 74 (2001) 295-302.
- [32] H. Maeda, J. Wu, T. Sawa, Y. Matsumura, K. Hori, Tumor vascular permeability and the EPR effect in macromolecular therapeutics: a review, J. Control. Release 65 (2000) 271-284.
- [33] J.W. Park, Liposome-based drug delivery in breast cancer treatment, Breast Cancer Res. 4 (2002) 95-99.
- [34] A. Di Paolo, Liposomal anticancer therapy: pharmacokinetic and clinical aspects, J. Chemother. 4 (2004) 90-93.
- [35] K. Yun, E. Kobatake, T. Haruyama, M.L. Laukkanen, K. Keinanen, M. Aizawa, Use of a quartz crystal microbalance to monitor immunoliposome-antigen interaction, Anal. Chem. 70 (1998) 260-264.
- [36] T. Terada, M. Nishikawa, F. Yamashita, M. Hashida, Influence of cholesterol composition on the association of serum mannan-binding proteins with mannosylated liposomes, Biol. Pharm. Bull. 29 (2006) 613-618.
- [37] S. Lin, C.C. Lu, H.F. Chien, S.M. Hsu, An on-line quantitative immunoassay system based on a quartz crystal microbalance, J. Immunol. Methods 239 (2000) 121-124.
- [38] T. Terada, M. Nishikawa, F. Yamashita, M. Hashida, Analysis of the molecular interaction between mannosylated proteins and serum mannan-binding lectins, Int. J. Pharm. 316 (2006) 117-123.
- [39] O. Ishida, K. Maruyama, K. Sasaki, M. Iwatsuru, Size-dependent extravasation and interstitial localization of polyethyleneglycol liposomes in solid tumor-bearing mice, Int. J. Pharm. 190 (1999) 49-56.
- [40] G.J. Charrois, T.M. Allen, Rate of biodistribution of STEALTH liposomes to tumor and skin: influence of liposome diameter and implications for toxicity and therapeutic activity, Biochim. Biophys. Acta 1609 (2003) 102-108.
- [41] P. Sapra, T.M. Allen, Ligand-targeted liposomal anticancer drugs, Prog. Lipid Res. 42 (2003) 439-462.
- [42] K. Maruyama, T. Takizawa, T. Yuda, S.J. Kennel, L. Huang, M. Iwatsuru, Targetability of novel immunoliposomes modified with amphipathic poly(ethylene glycol)s conjugated at their distal terminals to monoclonal antibodies, Biochim. Biophys. Acta 1234 (1995) 74-80.
- [43] S.M. Plum, J.W. Holaday, A. Ruiz, J.W. Madsen, W.E. Fogler, A.H. Fortier, Administration of a liposomal FGF-2 peptide vaccine leads to abrogation of FGF-2-mediated angiogenesis and tumor development, Vaccine 19 (2000) 1294-1303.

#### Figure legends

- Fig. 1. QCM assay of binding to the immobilized bFGF for mPEG-liposomes and bFGFp (2.5%)-liposomes, with or without 50 μg/mL bFGFp. Two μM (total lipids) liposomes were injected over immobilized bFGF. Each response signal was overlaid and zeroed on the y-axis to the average baseline. The start injection time for each form of liposomes was set to zero on the x-axis.
- Fig. 2. SPR sensorgrams of binding with the immobilized FGFR1 for 5 µg/mL bFGF, and 100 µM (total lipids) bFGFp (2.5%)-liposomes, with or without 5 µg/mL bFGF. Each sensorgram was overlaid and zeroed on the y-axis to the average baseline. The start injection time for each form of liposomes was set to zero on the x-axis.
- Fig. 3. Effect of the content and length of mPEG-DSPE on the uptake of  $[^3H]$  mPEG/bFGFp-liposomes ( $\Box$ ) by mouse peritoneal macrophages. Peritoneal macrophages were incubated with mPEG<sub>5000</sub>/bFGFp-liposomes (A) and mPEG<sub>3000</sub>/bFGFp-liposomes (B) containing different amounts of mPEG-DSPE at 37 °C for 2 h. The uptake of  $[^3H]$  bFGFp-liposomes ( $\blacksquare$ ) was used as a comparison. Each result represents the mean  $\pm$  S.D. values (n = 3). Statistical significance was analyzed by Dunnett's test versus bFGFp-liposomes (\*\*, P < 0.01; N.S., not significant).
- Fig. 4. QCM assay of binding to the immobilized erythrocytes for mPEG/bFGFp-liposomes and bFGFp-liposomes. Two  $\mu M$  liposomes were injected over immobilized erythrocytes in the following order: 10% mPEG<sub>5000</sub>/bFGFp-liposomes (A), 5 % mPEG<sub>5000</sub>/bFGFp-liposomes (B), 10% mPEG<sub>5000</sub>/bFGFp-liposomes (C), and bFGFp-liposomes (D).
- Fig. 5. Effect of bFGF on the cellular association of [3H] mPEG/bFGFp-liposomes by different cells. 10% mPEG<sub>5000</sub>/bFGFp-liposomes,

5% mPEG<sub>5000</sub>/bFGFp-liposome, and 10% mPEG<sub>3000</sub>/bFGFp-liposomes were pre-incubated with bFGF at 37 °C for 24 h. NIH3T3 (A), A549 (B), and CHO-k1 (C) cells were incubated with the mPEG/bFGFp-liposomes without ( $\blacksquare$ ) or with ( $\square$ ) the pre-incubation of bFGF at 37 °C for 5 h. Each result represents the mean  $\pm$  S.D. values (n = 3). Statistical significance was analyzed by Student's t-test versus each group without the pre-incubation of bFGF (\*\*, P < 0.01; \*\*\*\*, P < 0.001; N.S., not significant).

Fig. 6. Conforcal microscopy images of the binding of 10% mPEG<sub>3000</sub>/bFGFp-liposomes by NIH3T3 cells. NIH3T3 cells were incubated with 10% mPEG<sub>3000</sub>/bFGFp-liposomes containing 1% PE-fluorescein, without or with the pre-incubation of bFGF at 4 °C for 5 h.

Fig. 7. Confocal microscopy images of the binding and internalization of 10 % mPEG<sub>3000</sub>/bFGFp-liposomes by various cells. NIH3T3 (A, D), A549 (B, E), and B16BL6 cells (C, F) were incubated with 10 % mPEG<sub>3000</sub>/bFGFp-liposomes containing 1% PE-fluorescein, without (A, B, C) or with (D, E, F) the pre-incubation of bFGF at 37 °C for 5 h.

Fig. 8. Effect of the preincubation time with bFGF on the cellular association of [ $^{3}$ H] mPEG<sub>3000</sub>/bFGFp-liposomes by NIH3T3 cells. 10% mPEG<sub>3000</sub>/bFGFp-liposomes pre-incubated with bFGF for the indicated times were used for the uptake study. Each result represents the mean  $\pm$  S.D. values (n = 3).

Table 1. Lipid composition and mean particle size of liposomes investigated

| Lipid composition (molar ratio)                                                                                    | Particle size (nm) <sup>a</sup> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|
| mPEG-liposomes<br>(DSPC/Chol/mPEG-DSPE =60:37.5:2.5)                                                               | 101 ± 1.71                      |
| bFGFp-liposomes<br>(DSPC/Chol/bFGFp-PEG-DSPE =60:37.5:2.5)                                                         | $100 \pm 1.76$                  |
| 1% mPEG <sub>3000</sub> /bFGFp-liposomes (DSPC/Chol/bFGFp-PEG-DSPE/mPEG <sub>3000</sub> -DSPE=60:36.5:2.5:1)       | 115 ± 1.99                      |
| 2.5% mPEG <sub>3000</sub> /bFGFp-liposomes (DSPC/Chol/bFGFp-PEG-DSPE/mPEG <sub>3000</sub> -DSPE=60:35:2.5:2.5)     | 113 ± 7.06                      |
| 5% mPEG <sub>3000</sub> /bFGFp-liposomes (DSPC/Chol/bFGFp-PEG-DSPE/mPEG <sub>3000</sub> -DSPE=60:32.5:2.5:5)       | 114 ± 0.651                     |
| 10 mol% mPEG <sub>3000</sub> /bFGFp-liposomes (DSPC/Chol/bFGFp-PEG-DSPE/mPEG-DSPE <sub>3000</sub> =60:27.5:2.5:10) | 101 ± 1.36                      |
| 1% mPEG <sub>5000</sub> /bFGFp-liposomes (DSPC/Chol/bFGFp-PEG-DSPE/mPEG <sub>5000</sub> -DSPE=60:36.5:2.5:1)       | 116 ± 0.961                     |
| 2.5 % mPEG <sub>5000</sub> /bFGFp-liposomes (DSPC/Chol/bFGFp-PEG-DSPE/mPEG <sub>5000</sub> -DSPE=60:35:2.5:2.5)    | 113 ± 1.21                      |
| 5% mPEG <sub>5000</sub> /bFGFp-liposomes (DSPC/Chol/bFGFp-PEG-DSPE/mPEG <sub>5000</sub> -DSPE=60:32.5:2.5:5)       | 106 ± 1.26                      |
| 10% mPEG <sub>5000</sub> /bFGFp-liposomes (DSPC/Chol/bFGFp-PEG-DSPE/mPEG <sub>5000</sub> -DSPE=60:27.5:2.5:10)     | 101 ± 5.02                      |

 $<sup>\</sup>frac{a}{a}$  The mean particle sizes of the liposomes were measured using a laser light scattering particle size analyzer. Results are expressed as the mean  $\pm$  S.D. of three experiments.

